

## 岐阜県立岐阜工業高等学校

学校長 山田 和正

学校住所 岐阜県羽島郡笠松町常盤町 電話058-387-4141

- 1 会の名称 学校を考える会
- 2 会の構成
- |    |       |                  |
|----|-------|------------------|
| 委員 | 岩佐 洋二 | 株式会社 岡本 常務       |
|    | 大橋 仁壽 | 株式会社 大垣鐵工所 取締役社長 |
|    | 柴田 正義 | 名古屋鉄道株式会社 笠松駅長   |
|    | 羽賀 和子 | 地域住民代表(元育友会副会長)  |
|    | 前田 勸次 | 地域住民代表(元育友会会長)   |
- (委員名は五十音順)
- |     |       |         |
|-----|-------|---------|
| 準委員 | 川瀬 明久 | 育友会 会長  |
|     | 竹腰 功  | 育友会 副会長 |
- 学校側
- |       |       |       |        |
|-------|-------|-------|--------|
| 山田 和正 | 校長    | 林 忠弘  | 教務主任   |
| 平井 正春 | 副校長   | 近藤 益則 | 生徒指導主事 |
| 日比野政則 | 事務部長  | 牧村 高憲 | 進路指導主事 |
| 戸崎 晴雄 | 教頭(全) | 川嶌 俊夫 | 工業部長   |
| 上原 憲一 | 教頭(全) |       |        |
| 渡邊 克尋 | 教頭(定) |       |        |
- 3 会の目的 学校運営等について学校外の有識者等から幅広く意見を聞き、本校教育の改善・充実に資するとともに、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを目指す。そのため、岐阜県立岐阜工業高等学校に学校評議員を置く。
- 4 会の開催 平成19年 7月4日(水) 13:30~15:30 岐阜工業高等学校 記念館  
委員5人と準委員2人、学校側9人が出席
- 5 会の概要

主テーマ 工業高校に期待するもの

授業・設備の見学

機械科：実習(3年)、生活化学科：工業技術基礎(1年)、  
電子機械科：MPS実習室、ものづくり作品展示室

- 意見 1 実習施設内に材料が散らばっているのを見たが大丈夫か。作業内容から見て不安はなかったが、事故があっただけに安全確保として、対策を立てるべきである。
- 意見 2 実習室に十分な明るさがなくて作業が不安ではないか。また、パソコン実習において、実習机（作業机）・実習丸椅子では、作業姿勢がきちんと取れず、姿勢が悪くなる要因になります。
- 感想 3 ものづくりが好きな子にとっては、とても魅力的な学校である。
- 感想 4 基本作業実習に一生懸命取り組んでいる姿を見て、素晴らしいことだと思います。

学校の教育現状について 報告
----------------

教育実践	学校長より	社会・地域から期待される魅力ある工業高校
定時制	副校長より	定時制教育活動全般について
教務部		職員の構成や通学区域、教育課程の特徴について
生徒指導部		身だしなみ指導、自己啓発について
進路指導部		進路状況について
工業教育部		ものづくり・資格取得状況について
特別活動部		各種大会の記録について

- 意見 1 学校訪問時に、挨拶を自然にしてくれる生徒が多くなってきました。とてもうれしく思います。
- 意見 2 スカート丈の短い生徒に「なぜいけないか」だけでは直っていかないと思います。これがかっこいいと思っていますから。他校では曲げられない加工の制服もあるとか聞きます。
- 意見 3 公共施設や機関でのマナーは、よくなってきたと思います。しかし、一部の生徒ですが、ゴミ箱が近くにあってもゴミ箱を利用しない人がいます。ちょっとしたことを気をつけることから、社会マナーの向上が図られていくと思います。

工業高校に期待するもの
-------------

- 意見 1 安全作業およびその指導は、企業の宿命です。事故の予見と事前防御をどう進めるかという安全衛生委員会を設置しています。また、その対策を全員に知らせ徹底すること、小さな事故（擦り傷程度でも）を頻繁にするものに注意の目を光らせることが重要です。学校でもできることですから、しっかりとやってください。
- 意見 2 工場もコンピュータ化される時代ですが、汎用工作機械を使いこなせないと本当の技能者にはなれません。加工の基礎となる手作業や汎用機など加工の基本をこれからも重視してください。

意見 3 進学を目指す普通高校と違い、いろいろな進路選択ができるのですから、幅広い考え方を身につけさせてください。また、専門教育活動や部活動をとおして自信をつけさせてください。

意見 4 就職後、早期に退職・転職する若者が多いようです。主の原因は人間関係にあるといわれます。コミュニケーション能力の育成に努めてください。

#### 会のまとめ

- ・頑張っている工業高校の生徒の姿を見ていただいたが、安全教育や技能教育には、これでよいという終着点がないことを今一度認識させていただきました。さらなる安心安全な学校づくりに努めていくことが大切である。
- ・社会人へつながる学校として、基本的なところから（礼儀、端正な服装、聞く・話すなど）妥協することなく、ねばり強い指導を継続していくことが大切である。